

## カリキュラム・ポリシー (CP)

鹿児島大学大学院保健学研究科博士前期課程は、学位授与の方針に掲げる能力を備えた人材を育成するため、以下のとおり教育課程を編成のうえ、実施します。

### 1. 進学から学位取得に至るまで系統性のある教育課程の編成

- ① 豊かな人間性と広い視野を獲得できるように大学院全学横断的教育プログラムや、博士前期課程共通科目によって専門領域以外の様々な人々と共に学べるように編成し、育成します。
- ② 専門領域における基礎的能力を補強するために、専門的学習を促進するために領域共通科目を配置し、育成します。
- ③ 高度専門職業人としての優れた知識・技術を修得し、地域や国際社会における保健医療に関する課題を解決するための研究力、教育力を獲得できるように専門科目（特論・特別演習・特別研究）を配置し、育成します。
- ④ 他専門領域を理解し、協働できるようになるために、他領域の専門科目を修得できるように編成し、育成します。

### 2. 目的・目標に応じた方法による教育の実施

学位授与の方針に掲げる能力を育成するため、各科目の目的・目標に応じた方法による教育活動を行います。

### 3. 厳格な成績評価の実現

各科目において教育・学修目標と評価基準を明確に示し、厳格な成績評価を行います。

## ディプロマ・ポリシー (DP)

鹿児島大学大学院保健学研究科博士前期課程は、全学の学位授与の方針及び保健学研究科の教育目標に鑑み、以下に示す方針に基づいて、学位を授与します。

博士前期課程においては、以下に挙げる能力を身につけ、所定の単位を修得した者に修士（看護学）、修士（保健学）の学位を授与します。

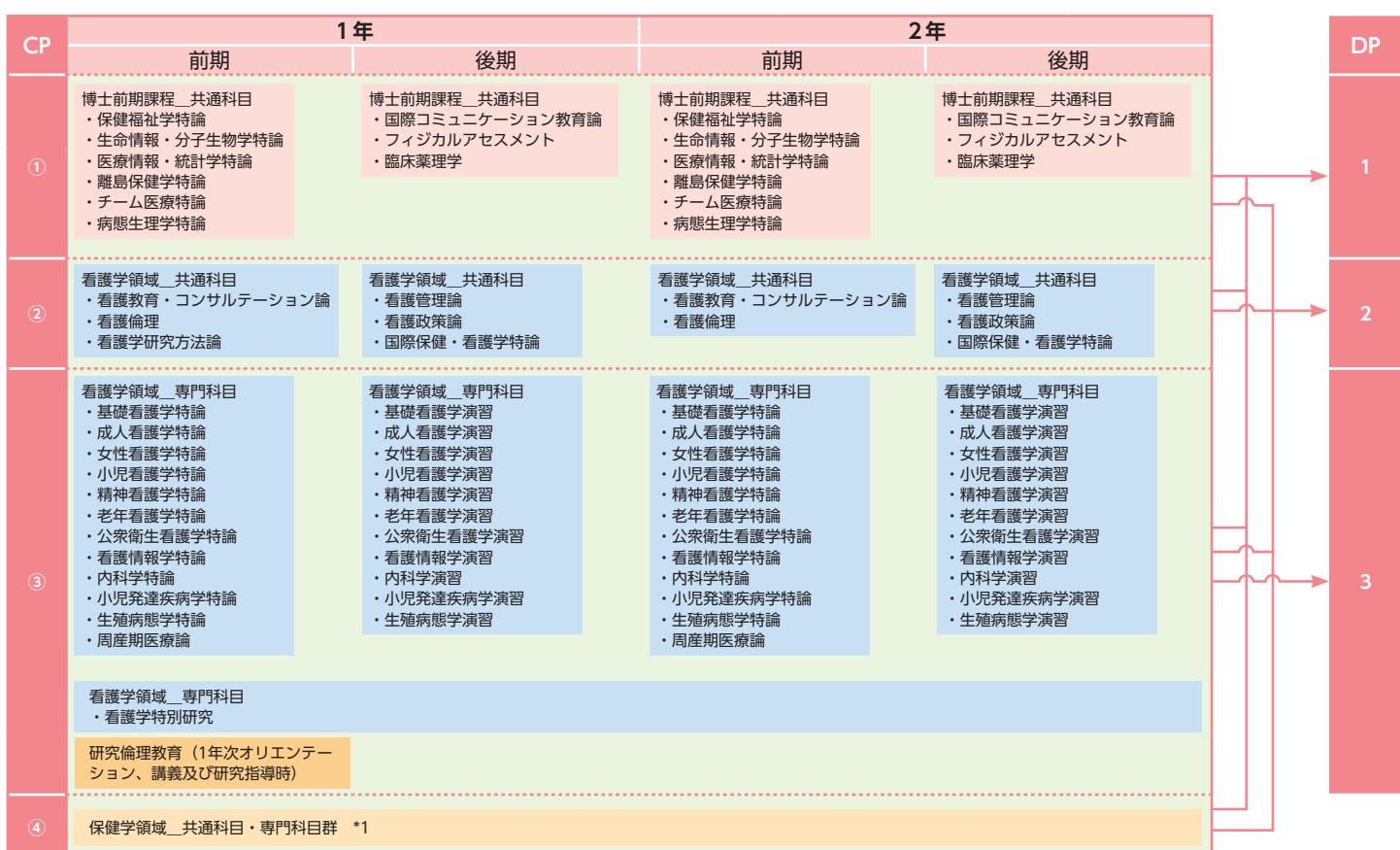
離島へき地などの地域や国際社会の保健・医療分野において

1. (知識) 研究倫理を理解し、地域社会の特徴ならびに各専門分野の知識を説明できる
2. (態度) 高度専門職業人としての役割を果たせるよう多職種と協調ができる
3. (技能) 実践的課題を解決する研究を指導のもと実施できる

## カリキュラム・マップ

### (1) 看護学領域（コース所属なし）

\*1.4単位まで修了要件単位に充てることができる。



## (2) 看護学領域（放射線看護専門コース）

\*2.修了要件単位に含まない。

CP	1年		2年		DP
	前期	後期	前期	後期	
①	博士前期課程_共通科目 ・保健福祉学特論 ・生命情報・分子生物学特論 ・医療情報・統計学特論 ・離島保健学特論 ・チーム医療特論 ・病態生理学特論	博士前期課程_共通科目 ・国際コミュニケーション教育論 ・フィジカルアセスメント ・臨床薬理学	博士前期課程_共通科目 ・保健福祉学特論 ・生命情報・分子生物学特論 ・医療情報・統計学特論 ・離島保健学特論 ・チーム医療特論 ・病態生理学特論	博士前期課程_共通科目 ・国際コミュニケーション教育論 ・フィジカルアセスメント ・臨床薬理学	1
②	看護学領域_共通科目 ・看護教育・コンサルテーション論 ・看護倫理 ・看護学研究方法論	看護学領域_共通科目 ・看護管理論 ・看護政策論 ・国際保健・看護学特論	看護学領域_共通科目 ・看護教育・コンサルテーション論 ・看護倫理	看護学領域_共通科目 ・看護管理論 ・看護政策論 ・国際保健・看護学特論	2
③	看護学領域_専門科目 _放射線看護専門コース ・基礎放射線学 ・臨床放射線医学 ・被ばく医療・放射線防護学特論	看護学領域_専門科目 _放射線看護専門コース ・放射線診療看護学特論 I ・放射線診療看護学特論 II ・放射線看護専門実践特論 ・被ばく医療看護論 I ・被ばく医療看護論 II ・放射線看護学初期実習	看護学領域_専門科目 _放射線看護専門コース ・放射線看護学実習 I ・放射線看護学実習 II	看護学領域_専門科目 _放射線看護専門コース ・放射線看護学実習 III	3
④	研究倫理教育（1年次オリエンテーション、講義及び研究指導時）	看護学領域_専門科目群	看護学領域_専門科目_放射線看護専門コース	・放射線看護学課題研究	
	看護学領域_専門科目群				
	保健学領域_共通科目・専門科目群 *2				

## (3) 看護学領域（島嶼・地域看護学コース）

\*3.4単位まで修了要件単位に充てることができる。

CP	1年		2年		DP
	前期	後期	前期	後期	
①	博士前期課程_共通科目 ・保健福祉学特論 ・生命情報・分子生物学特論 ・医療情報・統計学特論 ・離島保健学特論 ・チーム医療特論 ・病態生理学特論	博士前期課程_共通科目 ・国際コミュニケーション教育論 ・フィジカルアセスメント ・臨床薬理学	博士前期課程_共通科目 ・保健福祉学特論 ・生命情報・分子生物学特論 ・医療情報・統計学特論 ・離島保健学特論 ・チーム医療特論 ・病態生理学特論	博士前期課程_共通科目 ・国際コミュニケーション教育論 ・フィジカルアセスメント ・臨床薬理学	1
②	看護学領域_共通科目 ・看護教育・コンサルテーション論 ・看護倫理 ・看護学研究方法論	看護学領域_共通科目 ・看護管理論 ・看護政策論 ・国際保健・看護学特論	看護学領域_共通科目 ・看護教育・コンサルテーション論 ・看護倫理	看護学領域_共通科目 ・看護管理論 ・看護政策論 ・国際保健・看護学特論	2
③	看護学領域_専門科目 _島嶼・地域看護学コース ・地域・在宅看護学特論 ・地域・在宅看護学基礎実習	看護学領域_専門科目 _島嶼・地域看護学コース ・地域・在宅看護学演習 I	看護学領域_専門科目 _島嶼・地域看護学コース ・地域・在宅看護学特別研究		3
④	研究倫理教育（1年次オリエンテーション、講義及び研究指導時）	看護学領域_専門科目群	看護学領域_専門科目_島嶼・地域看護学コース		
	看護学領域_専門科目群				
	保健学領域_共通科目・専門科目群 *3				

#### (4) 看護学領域（助産学コース）

\*4.修了要件単位に含まない。

CP	1年		2年		DP
	前期	後期	前期	後期	
①	博士前期課程_共通科目 ・保健福祉学特論 ・生命情報・分子生物学特論 ・医療情報・統計学特論 ・離島保健学特論 ・チーム医療特論 ・病態生理学特論	博士前期課程_共通科目 ・国際コミュニケーション教育論 ・フィジカルアセスメント ・臨床薬理学	博士前期課程_共通科目 ・保健福祉学特論 ・生命情報・分子生物学特論 ・医療情報・統計学特論 ・離島保健学特論 ・チーム医療特論 ・病態生理学特論	博士前期課程_共通科目 ・国際コミュニケーション教育論 ・フィジカルアセスメント ・臨床薬理学	1
②	看護学領域_共通科目 ・看護教育・コンサルテーション論 ・看護倫理 ・看護学研究方法論	看護学領域_共通科目 ・看護管理論 ・看護政策論 ・国際保健・看護学特論	看護学領域_共通科目 ・看護教育・コンサルテーション論 ・看護倫理	看護学領域_共通科目 ・看護管理論 ・看護政策論 ・国際保健・看護学特論	2
③	看護学領域_専門科目_助産学コース ・助産学特論 ・離島・地域母子保健学特論 ・周産期学特論（正常編） ・周産期学特論（異常編） ・妊娠期助産学演習 ・分娩期助産学演習 ・離島・地域母子保健学実習Ⅰ	看護学領域_専門科目_助産学コース ・助産業務管理学特論 ・離島・地域母子保健学演習 ・産褥期助産学演習 ・新生児期助産学演習 ・実践助産学演習	看護学領域_専門科目_助産学コース ・助産学実習Ⅱ ・離島・地域母子保健学実習Ⅱ ・新生児期助産学演習	看護学領域_専門科目_助産学コース ・助産学実習Ⅲ ・助産学特別研究	3
④	看護学領域_専門科目_助産学コース ・助産学実習Ⅰ	看護学領域_専門科目群（以下は指定科目） ・女性看護学特論	看護学領域_専門科目群（以下は指定科目） ・女性看護学演習	看護学領域_専門科目群	
	研究倫理教育（1年次オリエンテーション、講義及び研究指導時）				
	保健学領域_共通科目・専門科目群 *4				

#### (5) 保健学領域

\*5.4単位まで修了要件単位に充てることができる。

CP	1年		2年		DP
	前期	後期	前期	後期	
①	博士前期課程_共通科目 ・保健福祉学特論 ・生命情報・分子生物学特論 ・医療情報・統計学特論 ・離島保健学特論 ・チーム医療特論 ・病態生理学特論	博士前期課程_共通科目 ・国際コミュニケーション教育論 ・フィジカルアセスメント ・臨床薬理学	博士前期課程_共通科目 ・保健福祉学特論 ・生命情報・分子生物学特論 ・医療情報・統計学特論 ・離島保健学特論 ・チーム医療特論 ・病態生理学特論	博士前期課程_共通科目 ・国際コミュニケーション教育論 ・フィジカルアセスメント ・臨床薬理学	1
②	保健学領域_共通科目 ・保健学研究方法論 ・理学療法・作業療法教育特論Ⅰ	保健学領域_共通科目 ・理学療法・作業療法教育特論Ⅱ	保健学領域_共通科目 ・理学療法・作業療法教育特論Ⅰ	保健学領域_共通科目 ・理学療法・作業療法教育特論Ⅱ	2
③	保健学領域_専門科目 ・神経障害学特論 ・病態構造解析学特論 ・病態生理理学療法学特論 ・老年理学療法・健康科学特論 ・機能障害診断・治療学特論 ・生活環境動作解析学特論 ・動作障害解析学特論 ・高次脳機能障害リハビリテーション学特論 ・高齢期・神経作業療法学特論 ・発達障害作業療法学特論 ・精神障害分析学特論 ・精神障害作業療法学特論 ・精神障害者支援特論	保健学領域_専門科目 ・生体基礎理学療法学演習 ・運動器障害理学療法学演習 ・高次脳機能障害リハビリテーション学演習 ・高齢期・神経作業療法学演習 ・発達障害作業療法学演習 ・精神障害分析学演習 ・精神障害作業療法学演習	保健学領域_専門科目 ・神経障害学特論 ・病態構造解析学特論 ・病態生理理学療法学特論 ・老年理学療法・健康科学特論 ・機能障害診断・治療学特論 ・生活環境動作解析学特論 ・動作障害解析学特論 ・高次脳機能障害リハビリテーション学特論 ・高齢期・神経作業療法学特論 ・発達障害作業療法学特論 ・精神障害分析学特論 ・精神障害作業療法学特論 ・精神障害者支援特論	保健学領域_専門科目 ・生体基礎理学療法学演習 ・運動器障害理学療法学演習 ・高次脳機能障害リハビリテーション学演習 ・高齢期・神経作業療法学演習 ・発達障害作業療法学演習 ・精神障害分析学演習 ・精神障害作業療法学演習	3
④	研究倫理教育（1年次オリエンテーション、講義及び研究指導時）	保健学領域_専門科目 ・保健学特別研究			
	看護学領域_共通科目・専門科目群 *5				

## カリキュラム・ポリシー (CP)

鹿児島大学大学院保健学研究科博士後期課程は、学位授与の方針に掲げる能力を備えた人材を育成するため、以下のとおり教育課程を編成のうえ、実施します。

### 1. 進学から学位取得に至るまで系統性のある教育課程の編成

① 保健学の基礎となる幅広い知識を基に、高度な専門的知識を修得できるように、博士後期課程共通科目を配置し、育成します。

② 専門分野における質の高い知識・技術を修得し、地域や国際社会における保健医療を発展させるための自律的な研究活動と教育活動能力を獲得できるように専門科目（特論・特別演習・特別研究）を配置し、育成します。

③ 専攻している専門分野を広い視点から捉え発展させられるように、他専門分野の専門科目を修得できるように編成し、育成します。

### 2. 目的・目標に応じた方法による教育の実施

学位授与の方針に掲げる能力を育成するために、各科目の目的・目標に応じた方法による教育活動を行います。

### 3. 厳格な成績評価の実現

各科目において教育・学修目標と評価基準を明確に示し、厳格な成績評価を行います。

## ディプロマ・ポリシー (DP)

鹿児島大学大学院保健学研究科博士後期課程は、全学の学位授与の方針及び保健学研究科の教育目標に鑑み、以下に示す方針に基づいて、学位を授与します。

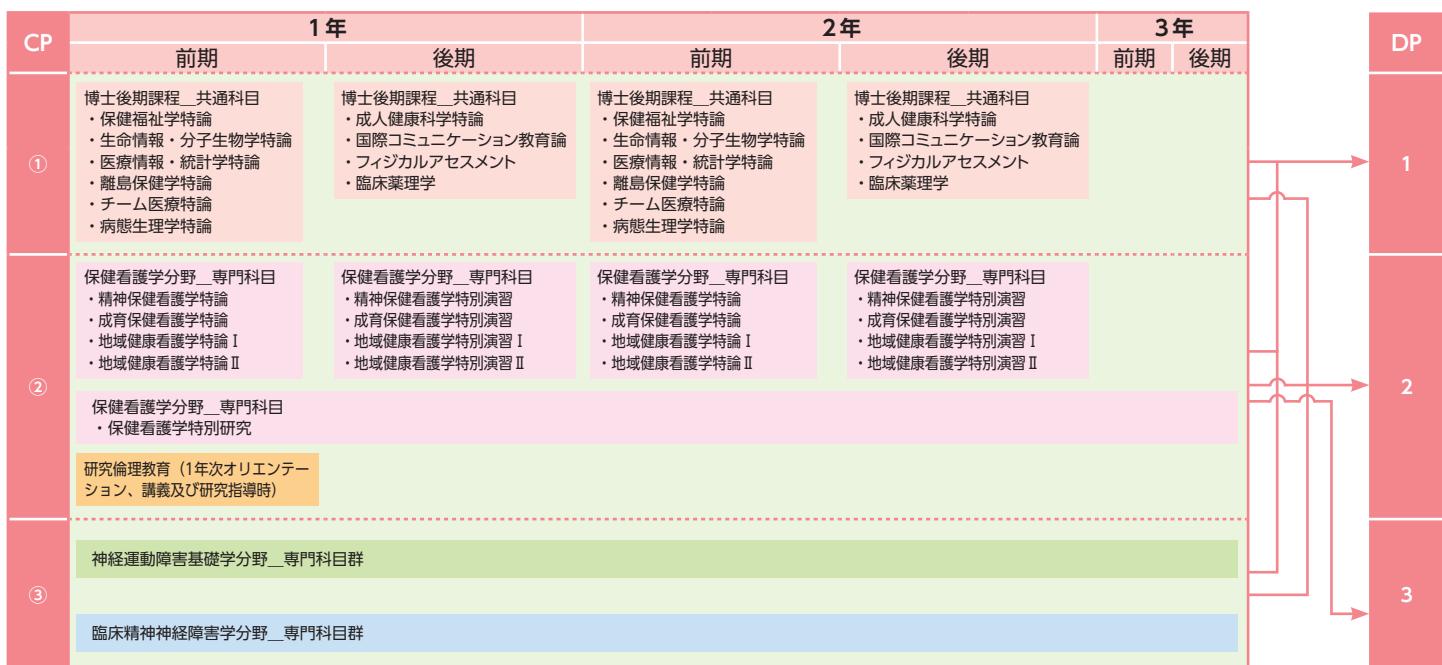
博士後期課程においては、以下に挙げる能力を身につけ、所定の単位を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格した者に博士（保健学）の学位を授与します。

離島へき地などの地域や国際社会の保健・医療分野において

1. (知識) 研究倫理を理解し、地域社会の特徴ならびに各専門分野の包括的な知識を説明できる
2. (態度) 高度専門職業人として実践や研究を推進するために多職種と協働ができる
3. (技能) 実践的課題を解決する研究を自律して実施し研究成果を情報発信できる

## カリキュラム・マップ

### (1) 保健看護学分野



## (2) 神経運動障害基礎学分野

CP	1年		2年		3年		DP
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
①	博士後期課程_共通科目 ・保健福祉学特論 ・生命情報・分子生物学特論 ・医療情報・統計学特論 ・離島保健学特論 ・チーム医療特論 ・病態生理学特論 ・理学療法・作業療法教育特論Ⅰ	博士後期課程_共通科目 ・成人健康科学特論 ・国際コミュニケーション教育論 ・フィジカルアセスメント ・臨床薬理学 ・理学療法・作業療法教育特論Ⅱ	博士後期課程_共通科目 ・保健福祉学特論 ・生命情報・分子生物学特論 ・医療情報・統計学特論 ・離島保健学特論 ・チーム医療特論 ・病態生理学特論 ・理学療法・作業療法教育特論Ⅰ	博士後期課程_共通科目 ・成人健康科学特論 ・国際コミュニケーション教育論 ・フィジカルアセスメント ・臨床薬理学 ・理学療法・作業療法教育特論Ⅱ			1
②	神経運動障害基礎学分野_専門科目 ・運動障害基礎学特論 ・運動障害学特論 ・神経障害基礎学特論	神経運動障害基礎学分野_専門科目 ・運動障害基礎学特別演習 ・運動障害学特別演習 ・神経障害基礎学特別演習	神経運動障害基礎学分野_専門科目 ・運動障害基礎学特論 ・運動障害学特論 ・神経障害基礎学特論	神経運動障害基礎学分野_専門科目 ・運動障害基礎学特別演習 ・運動障害学特別演習 ・神経障害基礎学特別演習			2
③	神経運動障害基礎学分野_専門科目 ・神経運動障害基礎学特別研究	研究倫理教育(1年次オリエンテーション、講義及び研究指導時)	保健看護学分野_専門科目群	臨床精神神経障害学分野_専門科目群			3

## (3) 臨床精神病神経障害学分野

CP	1年		2年		3年		DP
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
①	博士後期課程_共通科目 ・保健福祉学特論 ・生命情報・分子生物学特論 ・医療情報・統計学特論 ・離島保健学特論 ・チーム医療特論 ・病態生理学特論 ・理学療法・作業療法教育特論Ⅰ	博士後期課程_共通科目 ・成人健康科学特論 ・国際コミュニケーション教育論 ・フィジカルアセスメント ・臨床薬理学 ・理学療法・作業療法教育特論Ⅱ	博士後期課程_共通科目 ・保健福祉学特論 ・生命情報・分子生物学特論 ・医療情報・統計学特論 ・離島保健学特論 ・チーム医療特論 ・病態生理学特論 ・理学療法・作業療法教育特論Ⅰ	博士後期課程_共通科目 ・成人健康科学特論 ・国際コミュニケーション教育論 ・フィジカルアセスメント ・臨床薬理学 ・理学療法・作業療法教育特論Ⅱ			1
②	臨床精神病神経障害学分野_専門科目 ・認知リハビリテーション学特論 ・臨床神経リハビリテーション学特論 ・精神障害リハビリテーション学特論	臨床精神病神経障害学分野_専門科目 ・認知リハビリテーション学特別演習 ・臨床神経リハビリテーション学特別演習 ・精神障害リハビリテーション学特別演習	臨床精神病神経障害学分野_専門科目 ・認知リハビリテーション学特論 ・臨床神経リハビリテーション学特論 ・精神障害リハビリテーション学特論	臨床精神病神経障害学分野_専門科目 ・認知リハビリテーション学特別演習 ・臨床神経リハビリテーション学特別演習 ・精神障害リハビリテーション学特別演習			2
③	臨床精神病神経障害学分野_専門科目 ・臨床精神病神経障害学特別研究	研究倫理教育(1年次オリエンテーション、講義及び研究指導時)	保健看護学分野_専門科目群	神経運動障害基礎学分野_専門科目群			3